

「ハイウェイテクノフェア2023」に出展します(11/9・10)

～NEXCO西日本グループにおける最先端技術・工法等を紹介～

令和5年10月25日

みち、ひと…未来へ。



ハイウェイテクノフェア2023の概要



■開催日時 11月9日(木)・10日(金) 10:00～17:00

※オンライン展示 11月2日(木)～11月30日(金)

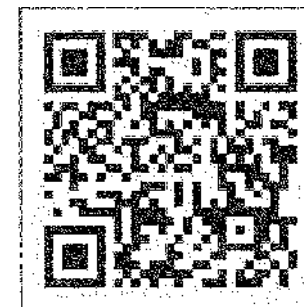
■開催場所 東京ビッグサイト 西3・4ホール 屋上展示場

■開催目的
◇高速道路の建設・管理に関する技術の普及や活用推進
◇高速道路事業について広くお客様や社会の理解を得ること

■展示内容 約280社の企業が出展

◇高速道路建設・管理の最先端技術・工法
◇開発技術等のPR
◇高速道路事業やトピックスを伝える広報

↓ 来場登録はこちら



■主催 **EHRF** 公益財団法人 **高速道路調査会**
EXPRESS HIGHWAY RESEARCH FOUNDATION OF JAPAN

■共催



オンライン展示のご案内(11月2日(木)~11月30日(金))

【オンライン展示内容】

- リアリティあるバーチャル展示空間で閲覧
- 興味のあるテーマを入力することで、お薦めブースを表示
- パンフレットだけでなく動画の視聴も可能

<展示会場イメージ>



<展示ブースイメージ>

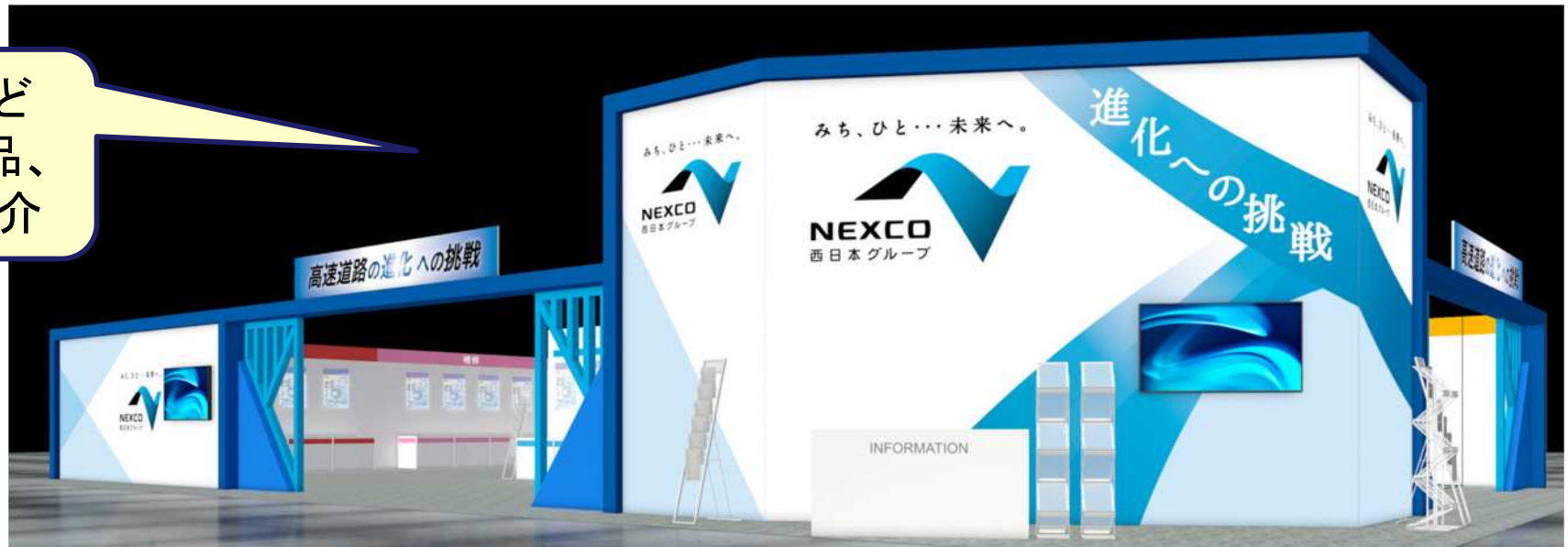


NEXCO西日本ブースの概要



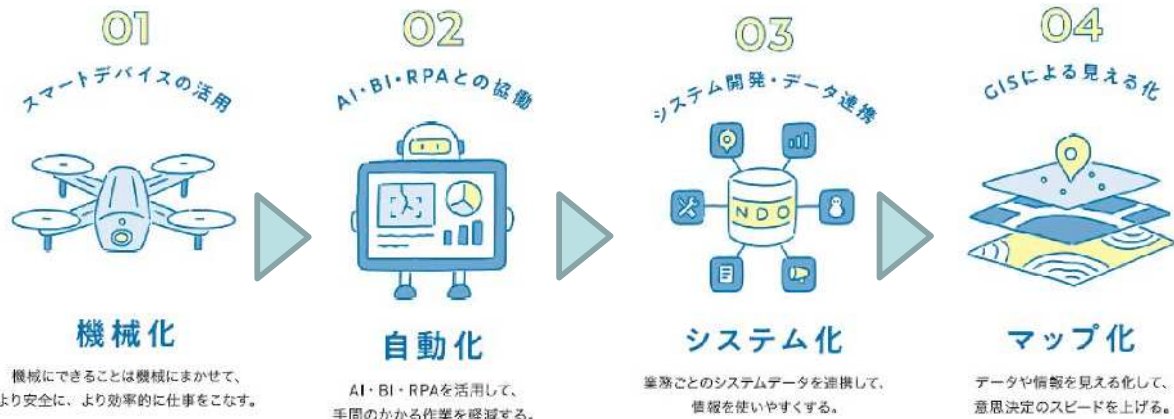
○ブーステーマ『高速道路の進化への挑戦』

点検、補修など
40を超える製品、
技術商品を紹介



○NEXCO西日本コーナーは「保全サービス事業DXの目指す姿」

取得したデータの
シームレスな共有
による生産性向上



HSWD(移動式たわみ測定車)

○従来交通規制による測定から、最大80km/hで走行しながら測定可能

<従来>



交通規制を行い停車して計測

<開発中の技術>

測定車両の概要



HSWD (High Speed Wheel Deflectometer)

光切断技術による路面形状データを活用し
舗装表面のたわみ量を測定できる車両を開発

走行しながら計測
(交通規制不要)

舗装表面のたわみ・・・たわみ量から、舗装内部の損傷状況を把握することができる。近年、舗装内部の損傷が顕著となっており、舗装補修計画を策定する上でたわみ測定は大切な調査である

AIによる日常点検(枯損木確認)の自動化

○車上目視点検による枯損木確認を、AIにより自動検知する技術

＜従来＞



車上から点検員が目視
※路面等の点検しながら

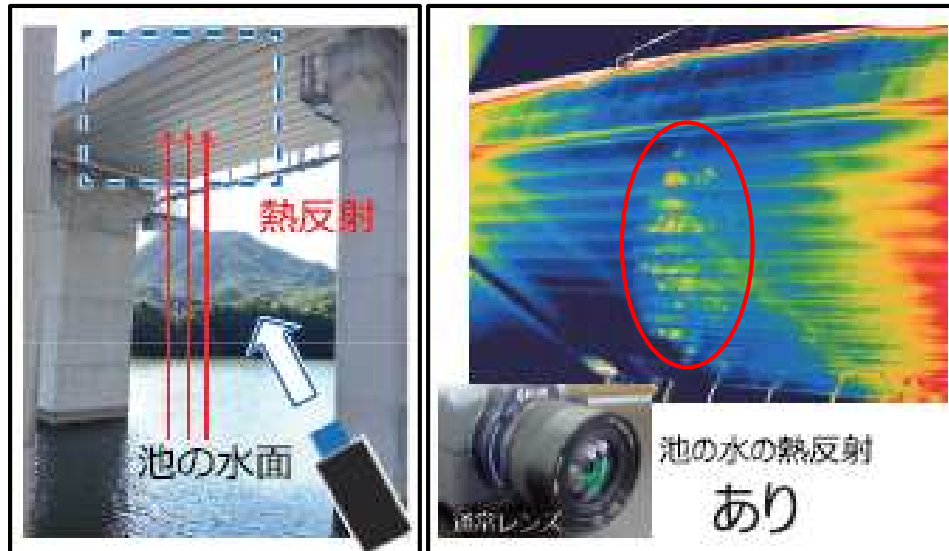
＜開発中の技術＞



将来的にはスマホで自動検知

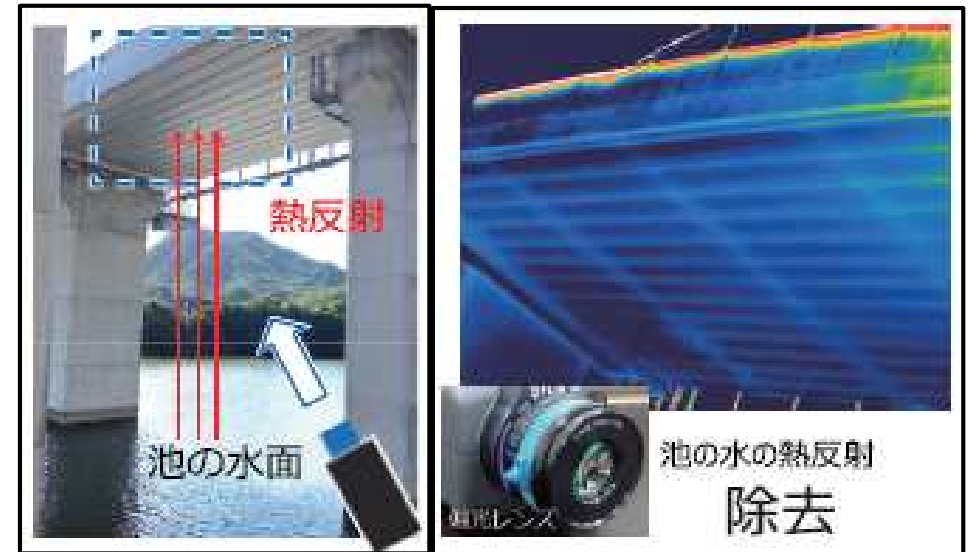
○夜間だけでなく、昼夜を問わず赤外線によりコンクリートの浮き等を検出可能

＜従来＞



昼間は熱反射の影響も混在
(太陽光の反射を熱検出してしまう)

＜開発した技術＞

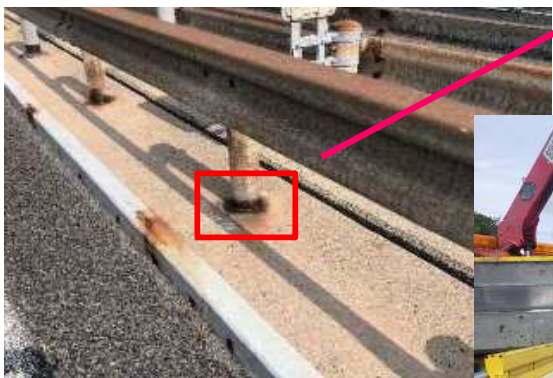


偏向レンズにより
昼間の熱反射除去に成功

○支柱キャップを外せば、速やかに設置できる支柱の緊急補強材の開発

＜従来＞

支柱地際部の腐食



クレーン車で
支柱を引抜き、再打設

＜開発した技術＞



補強材を入れるだけ
(更新工事まで緊急補強)

支柱地際部の錆び・・・地際部は水が集まりやすく、発錆事例も多い。また、支柱の取り換え時には車線規制が必要となり、作業時間も比較的長い。